

ユニフォーム規定

競技部・規則審判部

ユニフォームについては、2015-バスケットボール競技規則に則ったものとする。

1 ユニフォームの準備について

1. **パンツ・シャツは、必ず淡色・濃色を用意し、各色において同型・同色・同デザイン、全員統一したものとする。**同型・同色・同デザインであっても、**明らかに素材が異なる場合は不可とする。**

【シャツ】

- ・学校名の記載の有無は問わない。また異なる学校名や都道府県名のみのもので構わない。
- ・Vネック・Uネックが混在したり、異なるメーカーのロゴなどが混在したりすることは認められない。

【パンツ】

- ・パンツの色は、必ずしもシャツと同色でなくてもよい。
2. トーナメント表で**先に記載されているチームが淡色のシャツ（白色が望ましい）**を着用する。
トーナメント表で**後に記載されているチームが濃色のシャツ（白色以外の濃い色）**を着用する。
 3. ユニフォームには、前と背中の見えやすい位置に、ユニフォームの色とは**はっきりと区別できる単色の番号**をつけなければならない。**番号は、4番～21番とする。**

2 試合にあたっての注意点について

1. ユニフォームの色の変更を申し出る場合は、まず事務局へ事前に連絡をすること。
事務局が必要と認めた場合のみ、対戦校に了承を得て許可する。（原則としては認めない）
2. シャツの裾をパンツの中に入れること。
3. ユニフォームの下に**Tシャツを着用することは認められない。**
4. パンツの下に、**パンツより長いパンツ様のもの**（パンツからはみ出してしまうアンダー・ガーマントやパワー・タイツなど）**をはくことは認められない。**
下腿部のサポーター（ソックス様のものなど）は、**ひざ下までのもの、大腿部のものについてはひざ上までのものでなければならない。**
また、本大会においては、**サポーター類の色は問わない。**
5. 装飾品（指輪、ネックレス、ピアスなど）は、試合前に必ずはずす。
髪飾り（リボンやシュシュ、ヘアピンなど）の使用はできない。
入れ墨（タトゥー）は、テーピングやサポーターを用いて隠す。

◆上記について、引率責任者が、事前に責任をもって確認をすること。
試合の際に不備がないよう十分に注意すること。